

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7365 金融論A			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜3限				
教室	J101教室				
代表教員	梶原 真紀				
担当教員	梶原 真紀				
テーマと到達目標	本講義では、理論と実践の両面から、金融の基本について学ぶ。 ①金融の役割や仕組み、基礎的な金融理論を理解し、②社会に出て役に立つ金融知識や判断力を身につけ、③企業や家計の一員として適切な金融行動が取れるようになることを目指す。				
概要	金融市場を概観し、金融の機能や役割、企業や家計/個人それぞれの立場における金融の基本的知識と判断力を養う。金融に関わる基礎的理論や考え方を紹介し、講師の実務経験から実際のビジネス現場における具体的な業務内容等も交えて解説する。また、大学生の皆さんに身につけてもらいたい金融リテラシーの一貫で、ライフプランニングの実習を課題学習で扱う予定である。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	イントロダクション：金融とは何か				対面授業
第2回	金融市場概観/金融の機能と役割				対面授業
第3回	社会の基盤としての貨幣				対面授業
第4回	資本と投資（発行市場と流通市場）				対面授業
第5回	間接金融型の金融商品				対面授業
第6回	直接金融型の金融商品				対面授業
第7回	ファイナンシャル・ウェルビーイングと金融リテラシーの重要性				対面授業
第8回	ライフプランと家計管理、資産形成				対面授業
第9回	資産形成と非課税制度				対面授業
第10回	金融資産のリターンとリスク				対面授業
第11回	金融システムと金融機関の機能				対面授業
第12回	金融機関の種類と役割				対面授業
第13回	経済・金融情報の見方と活用法				対面授業
第14回	ファイナンスの基礎理論				対面授業
第15回	総括・まとめ				対面授業
成績評価の基準	授業への出席と参加姿勢、コメントペーパー/確認テスト、レポート、期末試験の点数等により総合評価する（詳細は開講時に説明する）。尚、全授業の2/3以上の出席に満たないものは評価の対象にしない。				
履修にあたっての留意事項	「金融論B」と併せて履修すること。遅刻は認めない（欠席扱いにする）。私語、スマートフォンの操作、内職などは厳禁とする(減点対象となる)。 尚、授業計画は状況に応じて変更の可能性がある。詳細は初回授業で説明する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	家森 信善（2025）『金融論（第4版）【ベーシック+】』中央経済社、2,530円（税込）	教科書(ISBN)	978-4-502-52461-5
参考文献	後藤元, 小野傑, 守屋貴之〔編〕『動き出す「貯蓄から投資へ」：資産運用立国への課題と挑戦』金融財政事情研究会, 2024 藤木裕『入門テキスト 金融の基礎(第2版)』東洋経済新報社, 2022 内田 浩史『金融〔新版〕』有斐閣, 2024 田中 茉莉子『金融論への招待（ライブラリ経済学への招待 6）』新世社, 2022 福田 慎一『金融論―市場と経済政策の有効性（新版）』有斐閣, 2020 その他、授業中に適宜紹介する。	参考文献(ISBN)	